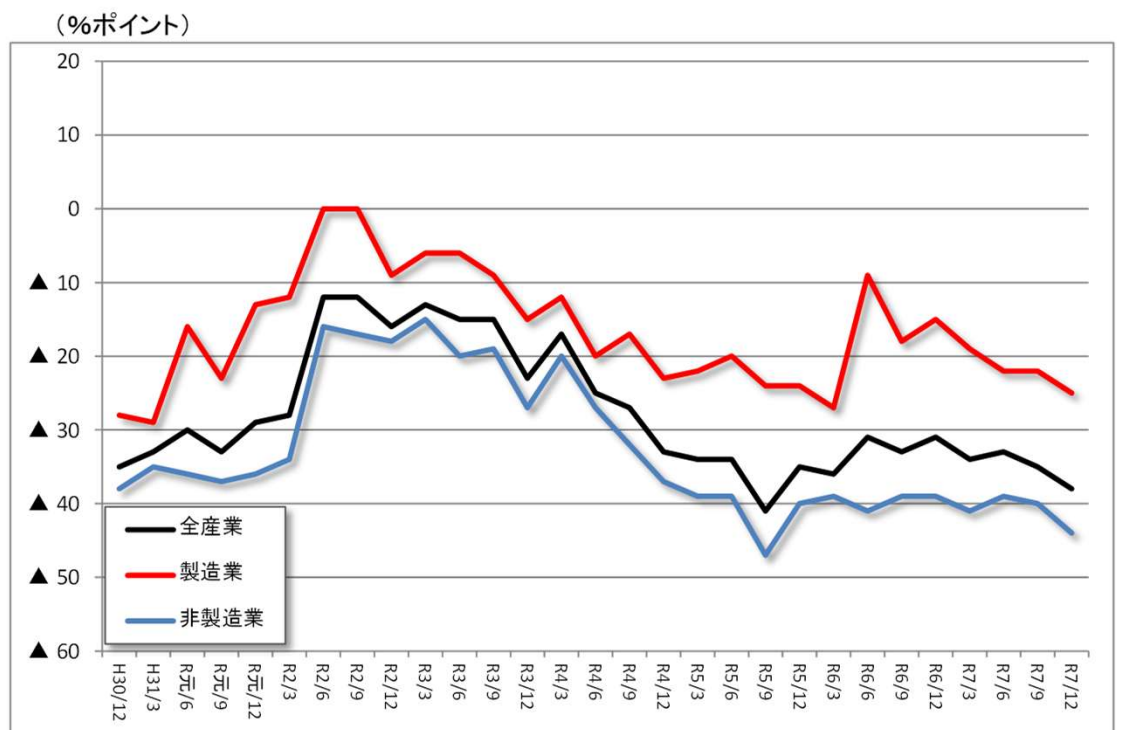


雇用所得

1 雇用人員判断D.I. (12月)



(日本銀行高知支店)

結果概要

<全体>

・▲38ポイント。前回比▲3.0ポイント。

(%ポイント)

	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9	R7/12
全産業	▲ 33	▲ 31	▲ 34	▲ 33	▲ 35	▲ 38
前回比	▲ 2	2	▲ 3	1	▲ 2	▲ 3
製造業	▲ 18	▲ 15	▲ 19	▲ 22	▲ 22	▲ 25
非製造業	▲ 39	▲ 39	▲ 41	▲ 39	▲ 40	▲ 44

指標解説

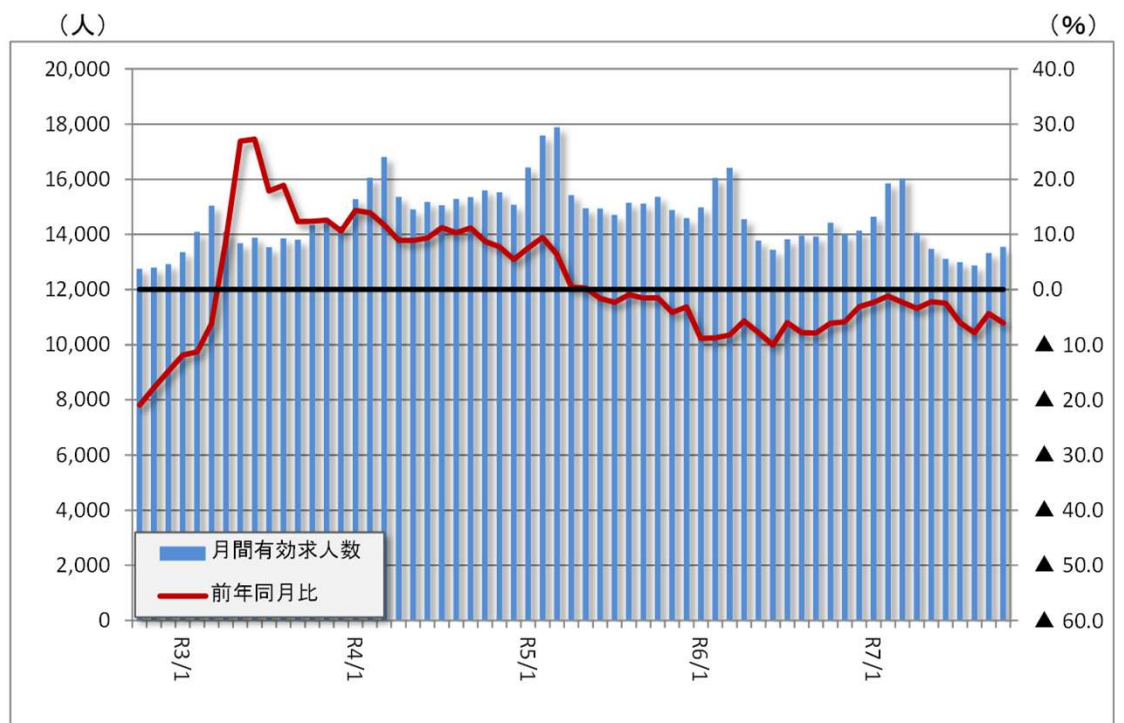
企業の雇用人員の過不足についてのD.I.

※D.I.(Diffusion Index)・・・アンケート調査などに基づく統計において、調査結果を分かりやすく表す一般的な指標のひとつ。雇用人員判断D.I.は、雇用人員が「過剰」と回答した割合から「不足」と回答した割合を引いて算出。

雇用所得

2 求人数（10月）

<有効求人数（原数値）>



（高知労働局）

結果概要

<全体>

- ・13,551人。前年同月比▲6.1%。
- ・29ヵ月連続のマイナス。

（人・％）

	R7/5	R7/6	R7/7	R7/8	R7/9	R7/10
有効求人数	13,473	13,106	13,000	12,873	13,324	13,551
前年同月比	▲ 2.2	▲ 2.5	▲ 6.0	▲ 7.8	▲ 4.3	▲ 6.1

<参考>

（人）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有効求人数	15,852	12,584	14,505	15,769	15,214	14,383

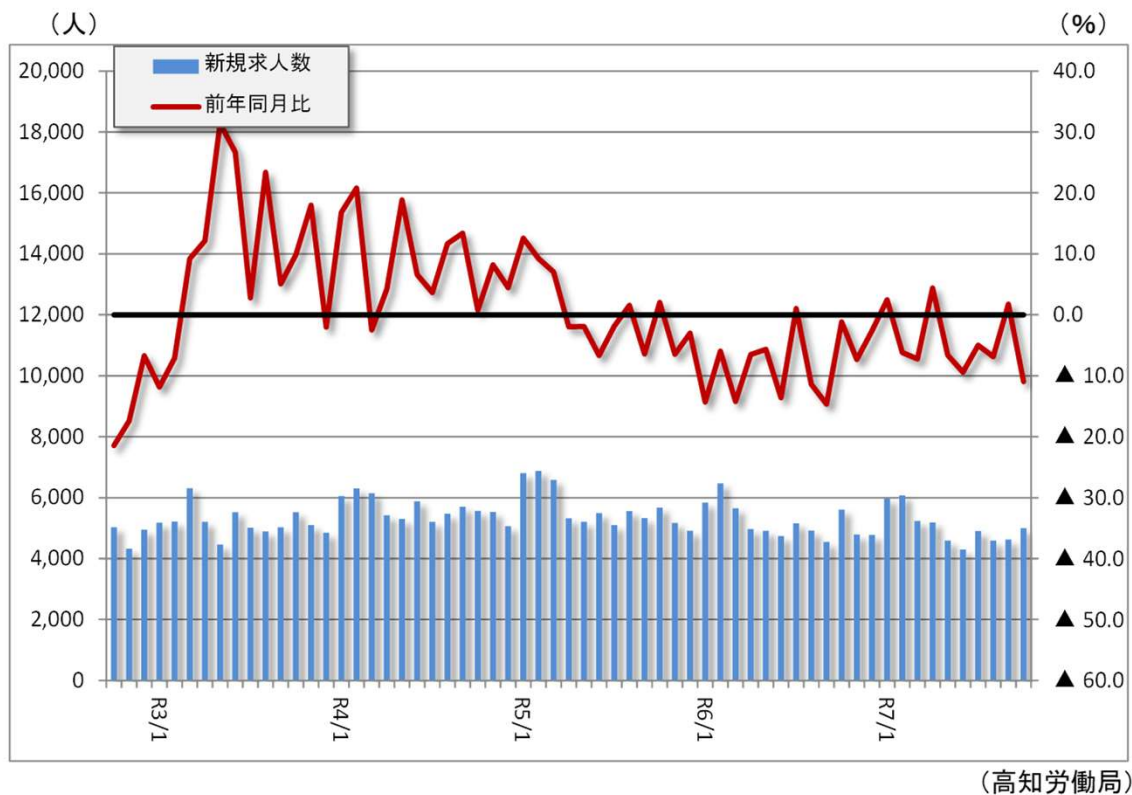
※年度の数値は月平均。

指標解説

・公共職業安定所（ハローワーク）が扱う「前月から繰越された求人数」と当月の「新規求人数」の合計数。

雇用所得

<新規求人数（学卒除きパートタイム含む、原数値）>



結果概要

「農林、漁業」、「建設業」などで増加したものの、「卸売業、小売業」、「サービス業」などで減少した。

<全体>

- ・4,997人。前年同月比▲10.9%。
- ・2ヵ月ぶりのマイナス。

	(人・%)					
	R7/5	R7/6	R7/7	R7/8	R7/9	R7/10
新規求人数	4,584	4,297	4,900	4,584	4,631	4,997
前年同月比	▲ 6.6	▲ 9.4	▲ 5.0	▲ 6.8	1.8	▲ 10.9

<参考>

	(人)					
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
新規求人数	5,800	4,752	5,342	5,784	5,476	5,144

※年度の数値は月平均。

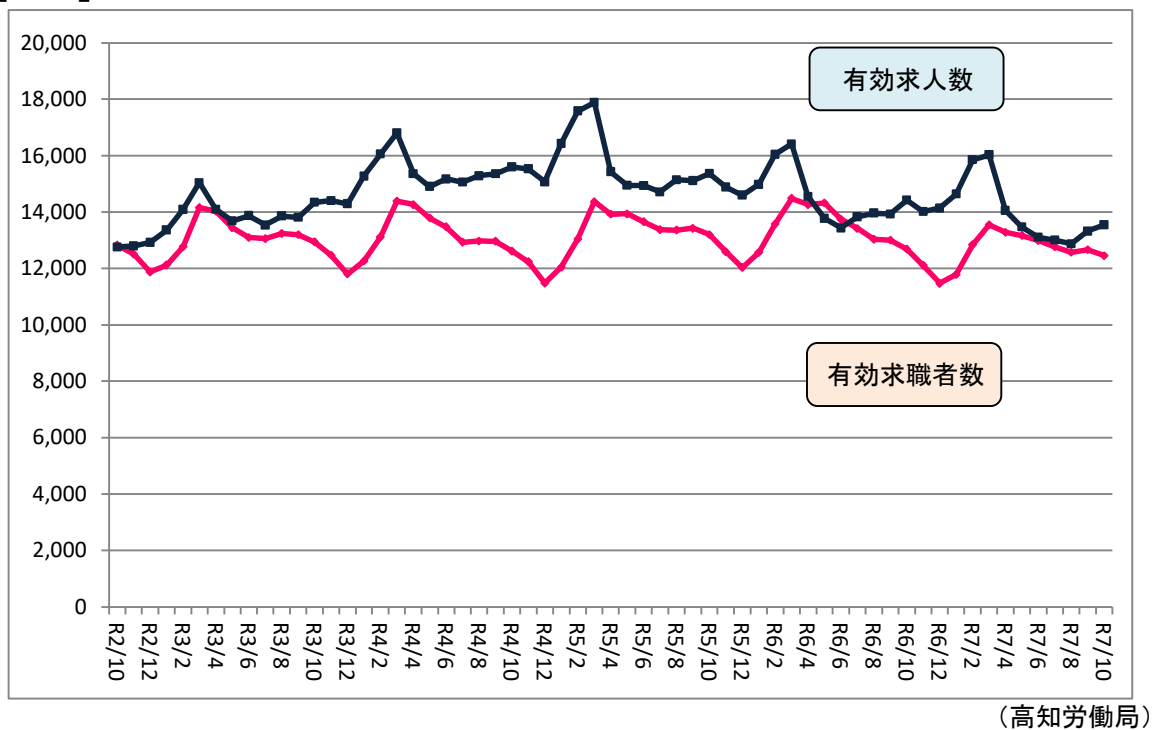
指標解説

・公共職業安定所（ハローワーク）が扱うその月のうちに新たに受けた求人数（採用予定人員）。

・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されている。

雇用所得

[参考] <有効求人数と有効求職者数の推移（原数値）> (人)



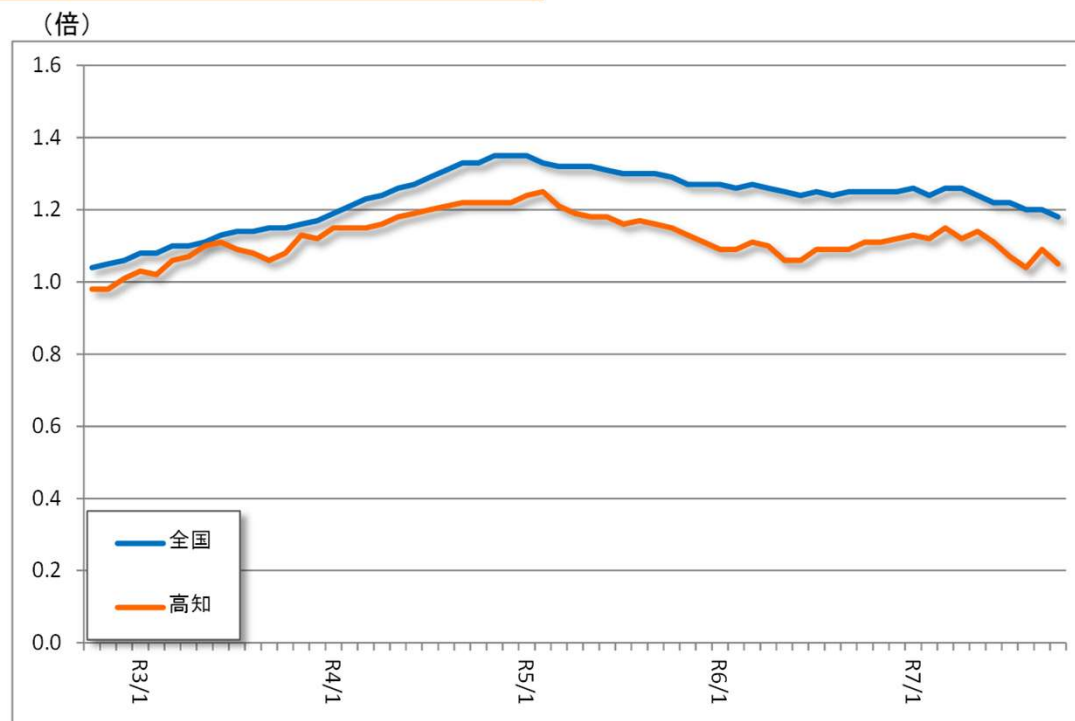
結果概要

(人)

	R7/5	R7/6	R7/7	R7/8	R7/9	R7/10
有効求職者数	13,165	12,987	12,765	12,572	12,663	12,455
有効求人数	13,473	13,106	13,000	12,873	13,324	13,551

雇用所得

3 有効求人倍率（季調値）（10月）



(高知労働局)

結果概要

<全体>

- ・1.05倍。
- ・前月差▲0.04ポイント。

(倍)

	R7/5	R7/6	R7/7	R7/8	R7/9	R7/10
高知県	1.14	1.11	1.07	1.04	1.09	1.05
全国	1.24	1.22	1.22	1.20	1.20	1.18

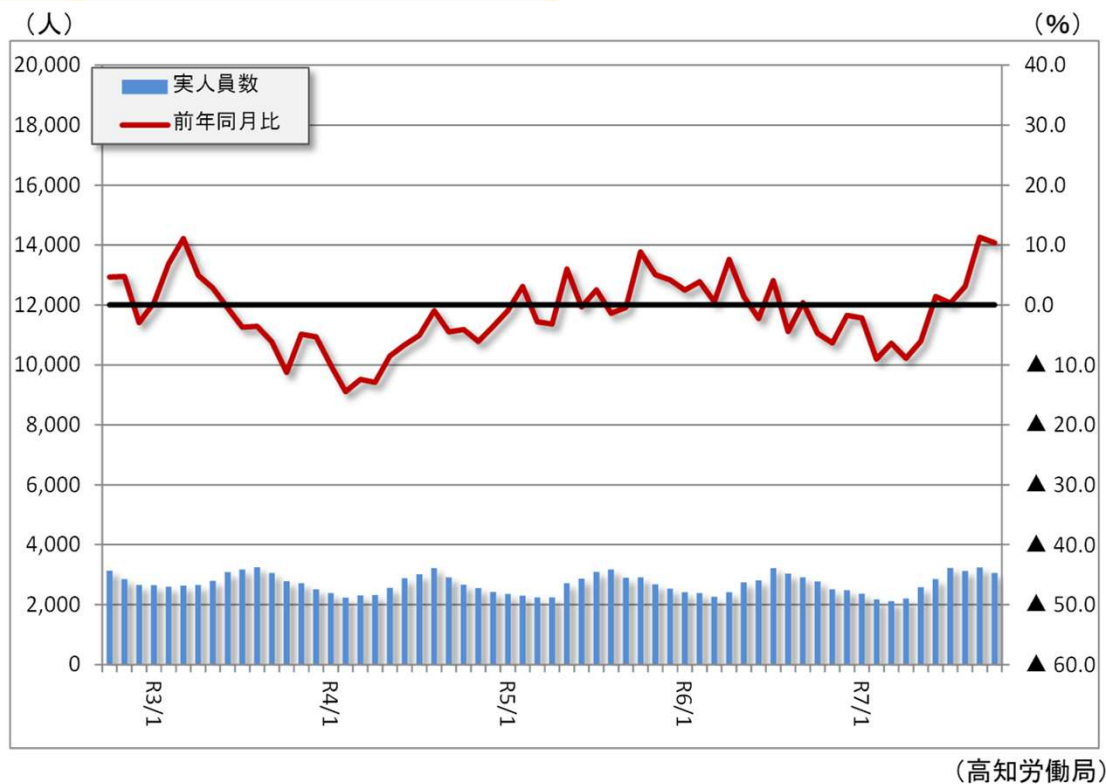
※令和6年12月以前の数値は、新季節指数により改定されています。

指標解説

- ・前月から繰越された数に新規の人数を加えた有効求職者数に対する有効求人数の割合で、求職者1人当たり何件の求人があるかを示すもの。
- ・一般に倍率が上昇しているときは、景気がよくなっていると言われている。
- ・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されている。

雇用所得

4 雇用保険受給者実人員（10月）



結果概要

<全体>

- ・3,057人。前年同月比+10.4%。
- ・5ヵ月連続のプラス。

	(人・%)					
	R7/5	R7/6	R7/7	R7/8	R7/9	R7/10
受給者実人員	2,584	2,849	3,227	3,126	3,243	3,057
前年同月比	▲ 6.0	1.4	0.3	3.1	11.3	10.4

<参考>

	(人)					
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
受給者実人員	2,854	2,901	2,746	2,621	2,681	2,630

※年度の数値は月平均。

指標解説

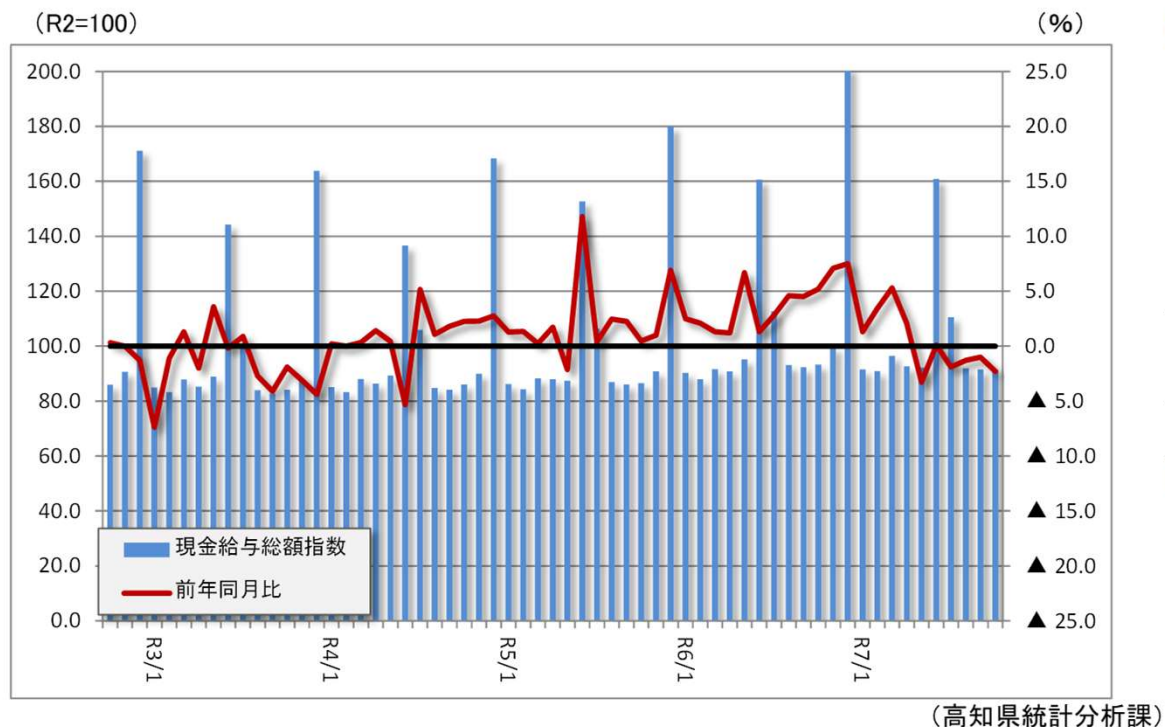
- ・失業給付を実際に受けた受給資格者の実数で、景気が良くなれば減少する傾向にある。
- ・景気動向指数の「運行指数」の系列に採用されることが多い。

雇用所得

5 毎月勤労統計（10月）

※毎月勤労統計
従業者数5人以上の事業所を無作為に抽出して雇用、給与、労働時間の毎月の変動を調べる調査。

<現金給与総額指数（名目）>



結果概要

<全体>

- ・91.2。前年同月比▲2.3%。
- ・4カ月連続のマイナス。

	(R2=100)、(%)					
	R7/5	R7/6	R7/7	R7/8	R7/9	R7/10
現金給与	92.1	160.9	110.5	91.9	91.5	91.2
前年同月比	▲ 3.3	0.1	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 2.3

※ 最新月は速報値。

指標解説

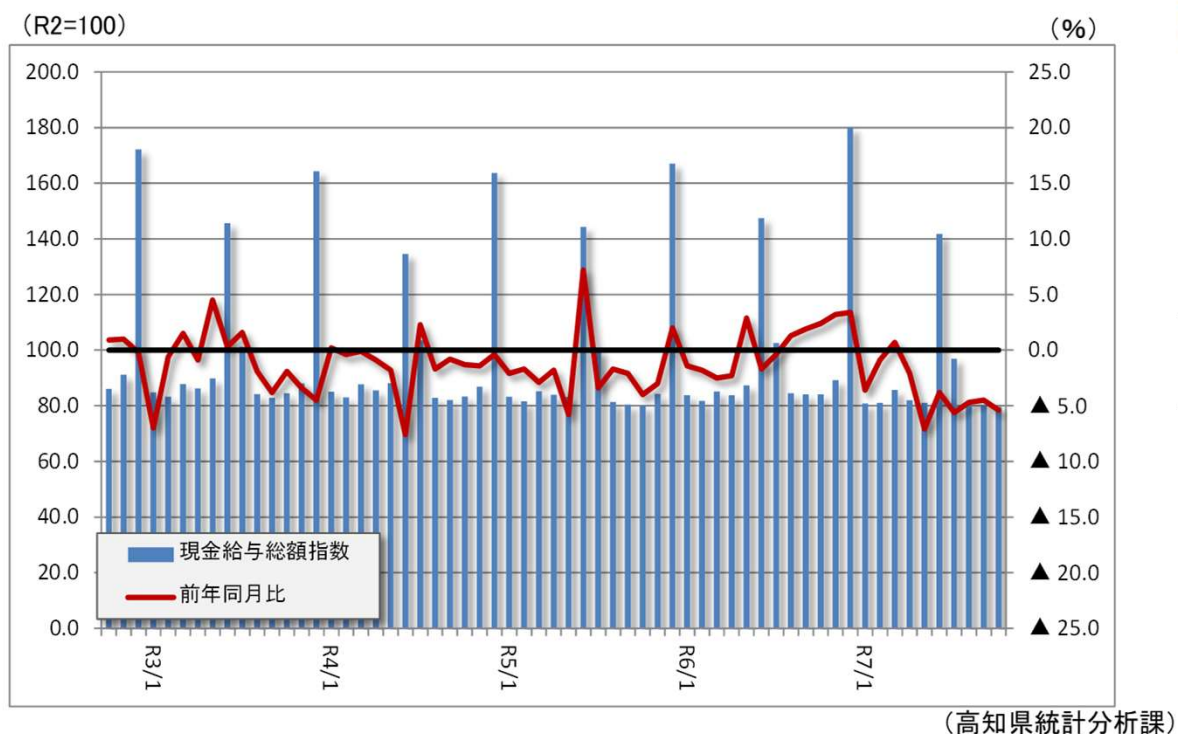
・所得税、社会保険料、組合費等を差し引く前の総額。

※現金給与総額= きまって支給する給与(所定内給与、時間外手当)
+ 特別に支払われた給与(ボーナス、精勤手当等)

・家計における消費の元手資金となる。

雇用所得

<現金給与総額指数（実質）>



結果概要

「不動産業、物品賃貸業」、「教育、学習支援業」などで前年を上回ったものの、「生活関連サービス業、娯楽業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」などで前年を下回り、全体では7ヵ月連続のマイナスとなった。

<全体>

- ・79.6。前年同月比▲5.4%。
- ・7ヵ月連続のマイナス。

(R2=100)、(%)

	R7/5	R7/6	R7/7	R7/8	R7/9	R7/10
現金給与総額指数	81.1	141.8	96.9	80.5	80.3	79.6
前年同月比	▲ 7.1	▲ 3.8	▲ 5.6	▲ 4.7	▲ 4.5	▲ 5.4

※ 最新月は速報値。